

目次

(49) 共用品推進機構関連記事

- ▽「おもちゃショー 今日開幕 新たな仕掛け作りに期待
／日本玩具協会会長 富山幹太郎氏」
- ▽「目の不自由な人のアイデア募集」
- ▽「ブログを更新しました！」

(50) 製品関連記事

- ▽「ベッドと車椅子、優しく移乗／パラマウントベッド」

(51) 新刊紹介

- ▽『マンガ版自閉症日常生活おたすけじてん
すぐわかるこんなときどーする?』
- ▽『障がい者スポーツ指導教本 初級・中級新版』
- ▽『発達障害の子どもが伸びるほめ方・しかり方・言葉かけ』

(49) 共用品推進機構関連記事

- ▼「おもちゃショー 今日開幕 新たな仕掛け作りに期待
／日本玩具協会会長 富山幹太郎氏」

機構 評議員会会長の日本玩具協会会長 富山氏のコメントが紹介されました。

日本玩具協会は、9日から国内最大の玩具見本市「東京おもちゃショー2016」を東京ビッグサイトで開く。日本玩具協会の富山幹太郎会長は「玩具の文化は国の力を測るバロメーター」と話す。

同協会が7日に発表した2015年度の国内玩具市場規模は、14年度比1%減の8003億円で、大ヒットした「妖怪ウォッチ」や「アナと雪の女王」の関連商

品の反動減に見舞われた。雑貨などを除く主要 10 分野では同 2.2%増だった。タカラトミーのミニカー「トミカ」など定番商品は好調で、高機能の「ハイテク系」も伸びた。

富山会長は「IoT や新しいメディアと連動した取り組みも進む」と新技術に期待を寄せる。

(日経産業新聞ニュースの主役 6月9日 20面より抜粋)

▼「目の不自由な人のアイデア募集」

社会福祉法人日本点字図書館と公益財団法人共用品推進機構は、視覚障害者からアイデアを募る「目が見えない・見えにくい私だから考えついたとおきのアイディアコンテスト」を開催する。

募集するのは、目が見えない・見えにくい人にとって、「こんな製品(もの)があったらもっと便利になる」というアイデア。「目が不自由でも操縦できる空飛ぶ絨毯」といった夢のアイデア、「すべてに点字が表示されている缶詰」など既存品の改良案も可。締め切りは9月5日(消印有効)。

応募資格、方法など詳細は主催団体のホームページで。

社会福祉法人日本点字図書館：<http://www.nittento.or.jp/>

公益財団法人共用品推進機構：<http://www.kyoyohin.org/ja/index.php>

(福祉厚生 6月7日号より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

・早稲田大学 藤本研究室の学生に講義

共用品ニュース(ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

(50) 製品関連記事

▼「ベッドと車椅子、優しく移乗／パラマウントベッド」

ベッドと車椅子間の移乗に便利なロボット介護機器「ロボヘルパー SASU KE(サスケ)」。いわゆる「お姫様抱っこ」で持ち上げた後、座位などへ姿勢を変えて移乗させる方式。高いモーター制御技術により、介助者は動かしたい方向へレバーを倒すだけの簡単操作。

(日経MJ 6月9日 20面より抜粋)

(51) 新刊紹介

▼ 『マンガ版自閉症日常生活おたすけじてん
すぐわかるこんなときどーする?』

マイルールで行動しがちな自閉症・発達障害の子どもが家庭・学校・社会生活でよく直面する50の場面を取り上げ、身につけるとよいソーシャルスキルを4コママンガとともに解説する。チェック欄付き。

著：成沢真介（なりさわ・しんすけ）

発行：合同出版

本体価格：1300円（税別）

ISBN：978-4-7726-1283-8

▼ 『障がい者スポーツ指導教本 初級・中級新版』

障がい者スポーツ指導者として身につけておかななくてはならないことを学べるテキスト。障がい者スポーツの理念、障がい者の生活と福祉施策、スポーツ科学、障がい者にとっての身近なスポーツなどについて解説する。

編：日本障がい者スポーツ協会

発行：ぎょうせい

本体価格：2400円（税別）

ISBN：978-4-324-10107-0

▼ 『発達障害の子どもが伸びるほめ方・しかり方・言葉かけ』

発達障害の子どもは、どんな言葉をかけてあげれば喜び、自信を持ち育つことができるのかをシミュレーション。最新の研究を踏まえ、多くの親が悩むコミュニケーション問題を解決する決定版。

監修：塩川宏郷

発行：河出書房新社

本体価格：1400円（税別）

ISBN：978-4-309-24695-6

(編集後記)

- 私の住んでいる集合住宅では、管理組合の理事長の発案で毎月1回、今年の4月から住民向けに4ページものの「通信」を発行している。
- 編集委員は、書籍編集のプロ、イラストのプロと私の3名。
私の担当は、地域情報の紹介。雨でも一度も中止になった事のない毎月1回行われている「朝市」、駅前に君臨するピンクの象の由来、体育施設の上手な利用方法などを、いちいち関係者に取材し書いていると、いちいち街の奥深さに触れられ、心が元気になる栄養をもらえずいぶんと得をしている。
- 得と言えば、編集委員で順番にテーマを決めてのシリーズエッセー。
私は、「共用品」を、テーマにシリーズとし、ちゃっかり紹介させてもらっている。

(星川安之)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>